

政務活動費 活動実績報告書

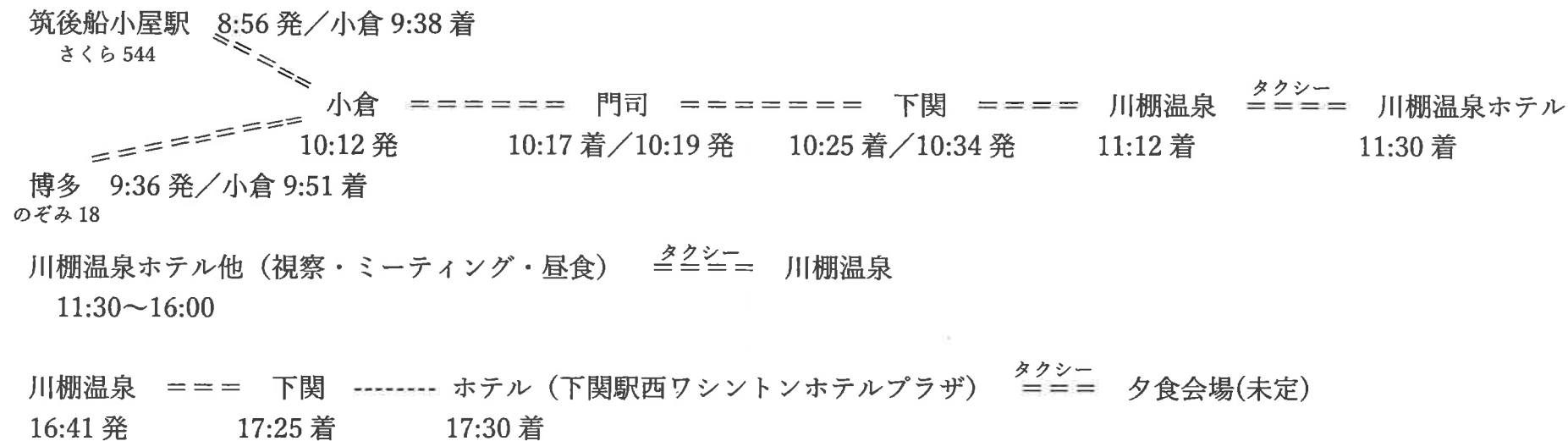
令和5年7月18日
高橋信広

件名	名物料理開発事業における具体的商品開発に向けた調査研究
使途	1 調査研究費 2 研修費 5 要請・陳情活動費
金額	15,000円
期日	令和5年7月12日(水)～13日(木) ※行程表添付
目的	八女商工会議所において、令和5年度は八女茶を生かした名物料理開発事業の取り組みが推進されている。具体的には、八女茶を利活用した茶そば(乾麺)を開発し、下関市川棚温泉の瓦そばを調査研究した上で、できるだけ早い時期の商品化を果たすことを目的とされている。議会においても、八女茶でまちづくり条例の一環として協力するとともに成功に向けて支援したい。
概要	<p>●参加者；山口隆一(観光協会福島支部長)、木下斎(同副支部長)、萩尾専務理事(商工会議所)、藤吉課長(商工会議所)、若林宗男(事業構想大学教授)、角田武敏(観光案内人の会代表)、末元寿一(YM サービス社長)、山口幸彦(商工振興課長)、横枕佳代(観光振興課)、その他、鳥越製粉等4名 計14名</p> <p>●視察先；①元祖瓦そば「たかせ」～ 瓦そば試食 ②川棚の杜(設計：隈研吾氏)～ 意見交換会場 ③川棚グランドホテル お多福 ～ 瓦そば試食</p> <p>●概要</p> <p>1.元祖瓦そば「たかせ」及び「お多福」の瓦そば試食での感想・考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瓦の山なり部分で食べるため食べにくさがあり、くぼみ部分で盛り付けることで食べやすくなり検討しても良いのでは。 ・価格が人前1350円は、若干高目であり、1000円から1200円で検討する必要がある。 ・そばに負けて抹茶の香りがあまり感じられないため、如何に八女茶の香りを出すかが開発のポイントになる。 ・2人前からの提供のため、家族や小団体で賞味しながら楽しめて、瓦そばは顧客満足度の高いアイテムになる期待感がある。 <p>2.意見交換会のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瓦そばあるいは八女茶そばを名物料理とするストーリーが必要 ・ターゲットを明確にする、例えば30代～40代のファミリー層 ・インスタ映えする見栄えの良い商品開発 ・瓦に代わる八女石灯ろうを生かして石焼きそばも検討してはどうか <p>3.まとめ</p> <p>◎令和5年以内に八女茶そばの乾麺開発及びオリジナル瓦そば等商品化を目指す</p>

八女の食開発 研修視察 行程表

R5.7.12 (水) ~ 7.13 (木)

◆7/12 (水) 8:30 筑後船小屋駅 集合



◆7/13 (木) 9:30 ホテルロビー 集合

